3/17朝日

核兵器廃棄 今こそ未来図描く時

無職　（東京都　73）

ロシアによるウクライナでの原子力発電所など核施設への攻撃が続いている。戦争被爆国で、東京電力福島第一原発事故を体験した日本は、率先して反対の声を上げるべきだ。

翻って顧みるに、日本には廃炉予定も含めて50基以上の原発がある。自然災害のみならず、人間の意思で原発が破壊される恐れが今回明らかになった。危険を排除するには廃炉しかない。もちろん廃炉にしたとしても核燃料や放射性廃棄物の安全な保管には様々な課題が残るから、それらに対処するためにも総力を挙げなければならない。

それに伴って二つのことも必須である。原子力の代わりを化石燃料に頼っては地球温暖化対策の後退になる。再生可能エネルギーの開発に、それが生む自然や生活の負荷への対策も含めて注力すべきだ。

もう一つは核兵器廃絶への積極的な取り組みだ。核兵器開発や核共有、核保有が抑止よりも攻撃を誘発することも今回明らかになった。核兵器を廃棄し、非戦を進めることがより切実になったのだ。

原発の廃炉、再生エネルギーの開発、核兵器の廃棄の推進を基軸にした日本の未来図を描く時だ。